



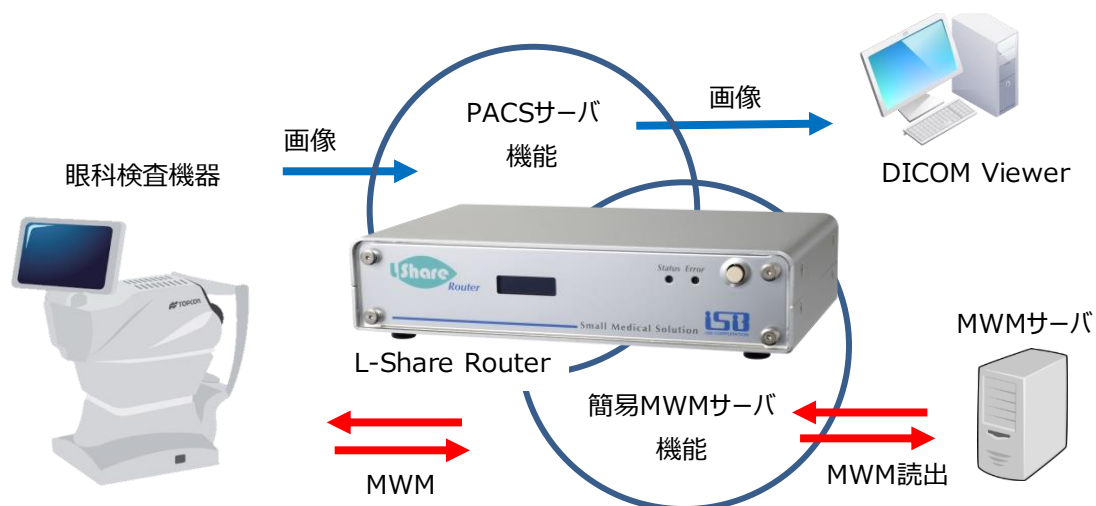
## 株式会社トプコンメディカルジャパン「眼科検査機器」の DICOM 検証装置として DICOM 転送ルータ「L-Share Router」を提供

株式会社アイ・エス・ビー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：若尾一史）は、L-Share シリーズ製品の DICOM（医用画像）転送ルータ「L-Share Router」（以下、L-Share Router）を、株式会社トプコンメディカルジャパン（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：佐伯僚一）が販売する「眼科検査機器」の DICOM 検証装置として提供致しました。

株式会社トプコンメディカルジャパンの「眼科検査機器」は、高画質、高精細な眼科画像を PACS サーバ、DICOM 画像診断ビューアに DICOM プロトコルを利用して送信しています。L-Share Router は、その DICOM プロトコルが規格に沿って正常に稼働しているかを確認、検証するために利用されています。特に MWM（Modality Worklist Management：モダリティワークリスト管理）については、L-Share Router に搭載されている簡易 MWM サーバ機能を使用し、さまざまな DICOM 関連サービスの確認、検証を実現し、「眼科検査機器」の信頼性向上に貢献しています。

L-Share Router が検証に利用されている機能は次の通りです。

- 1) PACS サーバ機能を使用し、DICOM 画像の蓄積、およびタグの確認、Viewer ソフトから画像の確認
- 2) PACS ログ（SCP ログ）機能を使用し、DICOM 通信のログ確認、および DICOM ファイル出力
- 3) 簡易 MWM サーバ機能を使用し、「眼科検査機器」からの検査情報の参照など



L-Share Router モダリティワークリスト機能利用シーン

## ●今後の展開

L-Share Routerは、地域医療連携のICT促進、検診車や遠隔読影、在宅医療など、さまざまな利用シーンで、ポータブル医療機器を必要とするお客様に積極的に提案してまいります。

また、株式会社トプコンメディカルジャパン「眼科検査機器」の検証で利用されているような正確性、信頼性が求められるニーズにも対応できるよう、L-Share シリーズのラインナップの拡充や、さまざまな利用シーンを想定したソリューションを提案してまいります。

## ●株式会社トプコンメディカルジャパンについて

株式会社トプコンメディカルジャパンは、昭和 51（1976）年の設立以来、親会社である株式会社トプコンの販売代理店として、TOPCON 製の眼科用医療機器（3次元眼底像撮影装置、眼底カメラ、光学式眼軸長測定装置など）を中心に、測量機器、産業機器などの製品販売、保守をされています。

TOPCON 製品は、「医」（眼科医療分野：アイケア）「食」（IT 農業分野：ポジショニング）「住」（ICT 自動化施工及びインフラ整備等の分野：スマートインフラ）の 3 つの分野で展開されており、モノづくりを通して豊かな社会づくりに貢献されています。

## ●「L-Share Router」について

DICOM 転送ルータ「L-Share Router」は、DICOM 医用画像を安全に転送可能とするセキュアな端末です。地域連携の中継用サーバや、検診車の画像転送端末、遠隔読影の受信端末として利用可能です。

有線 LAN だけでなく、3G/LTE 通信にも対応。VPN 機能により拠点間のセキュリティ確保や、L-Share 間の独自通信による圧縮／遅延転送が可能です。

\* DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) :医療用デジタル画像と通信に関する標準規格

\* L-Share は(株)アイ・エス・ビーの登録商標です。

弊社が展開します「L-Share 製品」の詳細については以下の HP をご覧ください。

<https://lshare.isb.co.jp/>

お問い合わせ先

株式会社アイ・エス・ビー

東京都品川区大崎 5-1-11 住友生命五反田ビル

TEL 03-3490-1761（代表）

FAX 03-3490-7718

<https://lshare.isb.co.jp/contact.html>

※記載された内容は 2021 年 03 月現在のものです。